

「ず」につづける「つ」

きずつく

ずつう

きずつける

ひとつずつ

てずつ(拙)

ゆうずつ

へずつ(平秩一人名)

「ず」につづける「づ」

みずづかい

「す」につづける「づ」

すづけ

かすづけ

第三「じ」「ず」を書くもの

「これまで」「じ」「ず」を書いてきたもの

いちじく

いちじるしい

ニ語頭における「じ」「ず」

じめん

じれったい

じじい

じんちようげ

じかに

じつと

じきに

ずうずうしい

じっこん

ずきん

じくじ(忸怩)

ずく

じゅうばこ

ずがいこつ

じょうぶ

ずきん

ずばぬける

ずたずた

ずけずけ

三分析しがたい語中の「じ」「ず」

あじ(味・鱒)

あじさい

いじらしい

いじる

うじ(氏)

えこじ

おじけ(る)

かじ(楫)

けじめ

げじげじ

けむくじゃら

くじら

こうじ(麴)

しめじ(茸)

すじ(筋)

すじりもじり

ずし(厨子)

ずぼし

とじ(る)

どじをふむ

ねじ(る)

はじ(る)

もみじ

ひじ(土・肘)

ふじ(藤)

もじる

よじる

うずたかい

うず うずら

あずかる(あずける)

あずき

あずさ

いずこ

いずのおたけび

いずれ
うずめる(もる)
かづく
かざら
くず(屑)
くずれる
けずる
さずける(かる)
しずか
しずのおだまき
しむむ
しみず
おしまずき
たずねる
たずき
たずさえる
なずき(脳)
なずな
なずむ

にわたずみ
のほうず
はずかしい
へずる
はずす(れる)
ますい
ますしい
みず
むずかしい
むずかる
めずらしい
もくず
もづく
ゆずる
よろず
わずか
わずらう
なます

四、二部分にわけて考えることのできる語の、

後部のはじめの「じ」「ず」

1 字音の複合によるもの

イ 連声(連濁)

知(げじ)智(てんじてんのう)

中(こうじゅう、しんじゅう、れんじゅう、ろうじ)

ゆう、このじゅう)

頭(まんじゅう)長(にんじょう人長)朝(じんじ)

よう晨朝)

都(そうずー俊寛そうず)

通(ぐずう(弘ー)じんずう、じんずうりき、ゆう)

ずう)

ロ 語頭でチツのほかにジズの音をもつもの(漢音チ)

呉音チの類)が複合しているもの

地(いじ、いきじ、いくじ、きじ、きぬじ、したじ、

でんじ、ほんじ、へんじ、おびじ)てんち、し

ゃくち、

治(たいじ、とうじ、りょうじ、もみりょうじ、め

いじ)じち

帖(あきはぎじょう、ほうじょうじたて)てちよう

沈(じんこう、じんちょうげ) ふちん

着(しゅうじゃく、あいじゃく、むとんじゃく) ふ

ちやく

直(しょうじき、こうじき、げじき) せいちよく

重(にじゅう、げんじゅう、けいじゅう、さげじゅう)

う) けいちよう

豆(だいず、いず) えんどう

頭(ちようず、ごずめず、りゅうず、ひりようず)

ばんとう

図(あいず、さしず、せいず、ちず) いと きと

2 後部のもものがズ濁音として独立の用法をもつもの

ずく(豆蔻^x) (くさずく、しょうずく、にくずく

ずく(木菟^x) (みみずく、このはずく

ずきん(頭巾^x) (あおずきん、おこそずきん

じゅう(重) (さげじゅう、すぎじゅう

じ(柱) (ことじ(琴柱)

3 普通に二語に切りはなして考えにくいもの、(後部

のものに独立した用法が認められるか否かにかかわら

ず、前部のもものが現代語として独立した用法をもたな

いので)

いたずく うすずく、うなずく えずく(嘔吐^x) か

しずく きずく(築) つまずく ひざまずく ぬか

ずく なかんずく たずな きずな けずめ ひず

め いなずま さかずき こずみ(木屑^x)

4 後部のもものが独立の用法をもたないもの

イ 独立の語形がないもの

おやじ おじ おおじ わらじ(草鞋^x) たず(田

鶴^x) たまずさ(玉章)

ロ 接尾語としてだけ用いられるもの

(じゅう) (中) せかいじゅう 一日じゅう

らいねんじゅう せんだってじゅう

(ずから) おのずから くちずから てずから

みずから みみずから

(ずくで) うでずくで おもしろずくで かねず

くで ぜにずくで

(ずくめ) けっこうずくめ おもしろずくめ

(ずつ) ひとつずつ

ハ 複合語の成分としてだけ用いられるもの

(じ路) あずまじ いえじ うまやじ うみじ

うみつじ おうみじ おかじ かけじ

かよいじ かわじ きそじ くもじ く

がじ こうじ くまじ しおじ せき

じ ただじ たびじ ながじ なみじ
のじ つくしじ はまじ はゆまじ ひろ
こうじ ふなじ よかりじ まさごじ
みなとじ みやこじ みやじ やまじ
やまとじ やみじ ゆめじ よきじ
わかれじ

(じ乳) そえじ ほそじ むなじ

ニ 語源の明らかに意識されないもの

かたず むしず さかづき いのこづち くちづつ
てずつ ゆうづつ てずま あますら みすら び
んすら おとずれる

五 同じ語でツズ両様の発音のあるものズは

「ず」

みおつくし	なつける
みおづくし	なずける (てなずける)
むつかしい	みいつ ひとつのおたけび
むずかしい	みいず いずのおたけび

第四 「お」「おう」「おお」

一、ア列音につづくオ (アオ、カオ、サオの類)
はすべて「お」

イ 旧かなづかいで「を」「ほ」と書いていたもの
あお、かお、さお、みさお、みおつくし：：等

ロ 旧かなづかいで「ふ」と書いたもの

あおい (葵) × あおぐ (仰) あおる (煽) × あお
り (煽・障泥) × あおむく あおむける あおむき
あおむけ (仰) たおす たおれる いしゃだおし
みかけだおし くだたおす きだおれ くだたおれ
けいかくだおれ ゆきだおれ (倒)

二、オ列音につづくオ (オオ、コオ、ソオ、キョ
オ、シヨオの類)

イ 旧かなづかいでア列またはオ列のかなに「う」
または「ふ」をつづけたもの (あう、あふ、かう、
かふ、こう、こふの類) は、すべてオ列のかなに
「う」をつけて書きます。

おうむ、おうぎ かおう (買はう) こうじ (麴) ×
こうばしい (香) 書こう、むこう (向) じゅう